

アリストテレスはかく語りき

担当:石田昭 2015年3月5日

1 「神様が創られた世界の秘密を明らかにすること」が学問。私はソクラテスと同じ考え。

2 現代の平和主義は「唯物論」や「快樂説」、「肉体だけが自分という考え方」である。

小室直樹(ディオゲネス)現代の左翼論 「この世の命を護ることが最大の目的」

3 これだと、何もしない「正義よりも隷属を求める」人が出てくる。ハイエク「隷従への道」

4 「徳」のある人は、「神の正義の実現」を求める。「徳」は「テオリア」、「観照的生活」をも意味するが、天上界との交流から生まれる「智慧」を宿すとき「徳」が生まれる。

5 現代の学者たちは、「自分は、賢い」と思ってる。しかし、「肝心要の真理を知らない人が多い。だから、「徳」ある学者が生まれにくい。性能が高いコンピューター的な知を競っている

6 その最たるものが、「神とは何か」、「人間の本質とは何か」、「あの世と、この世の関係」、「人生の意味」、これらについての基本的理解が完全に失落した博士達。留学して Ph.D(博士号)を取った唯物論者が山のようにいる。

7 人間の成熟には年齢に応じた教材が要る。受験制度は成熟の前に力尽き、平凡化への道。

8 日本から発信していくものを作れたら、すごいことになる。そういう時代が来ている。

時代精神を作ろうとしている。“懐かしい匂い”がする人(誰?)の近くにいる気がする。

9 文科大臣:「無知の人」が、「知がある人」に対して「お前は知がない」と審判を下している。「歴史的判断」だから「英断を」との忠告を大臣は無視した。安倍晋太郎が言う「崇り」がでた?

10 いわゆる、ソクラテス的な意味での「無知の知」。分かっているのに分かっているふりをしてる偽者、学問の中のフェイクの部分、より分けていく必要がある。これとの論戦が、待ち構えている。(p.97) 地震学者も火山学者も分かっているのに、分かったふりをしてる。爆発の傷跡に過ぎない断層を“活きた断層(活断層)”と考えている。因果逆転。

11 西洋文明は“人種差別”への「反省」「懺悔」が十分に終わっていない。東洋の思想からの学びが足りない。日本の台湾統治政策に人種差別は無かった。映画「KANO」の話題。

12 西洋文明に足りない東洋的なものは、ギリシャ哲学、エジプトの文明にはあった。インドの東洋哲学との交流が当時あった。しかし、イスラエルから出てきた宗教が拒否した。

アメリカ経済は今、ユダヤ資本が支配し、政治も強く影響されている。ユダヤ人権擁護団体
アメリカの繁栄はトス神、アメリカの独善はヤハウェー・ルーズベルト、トス神は今 HSU へ。

13 武力で啓蒙する前に、真理によって啓蒙することが大事。HSU から輩出する人材

宗教紛争調和士(高等宗教の知識が必要) 民族紛争調和士(霊的人生観の練磨が必要)

14 現代人は唯物論者が多く、「実用の学」の面で効能を見せないと、信じない。批判はいっぱい受けるので、ものすごい勇気が要る。批判で腰砕けになるなら来ない方がいい。

15 四頭立の馬車を牽引する馬が「科学」(推進力)、後ろの客車に“主人公”が乗る。

だから、科学技術が劣るわけにいかない。民主党は脱原発、自民党は曖昧な発言。

地震爆発論学会は国家の繁栄のために、原発審議に含まれる非科学性を暴露している。血の気?

16 今は国民が集団自決しようとしている雰囲気。戦わなければならないときもある。国を護ることが大切。負ければ文明は滅びる。徳高き生き方が、動物を食すための義務。

17 地震・火山「どういう天意」が働いているのか、自然災害の研究は必要。

地球意思の疲労感が地殻の疲労破壊となり、巨大地震の発生に繋がる。自己調整法の一つ。

あとがき: 現代は真理のための戦いに、とても勇気の要る時代だ。天才達は決して時代の流れに屈しない。新しいアレクサンダー大王を生み、世界を変えていこう。